

スツレサイディングは全て無垢材です。

防火規制対応商品ではありませんので、外装材として使用する際の建築基準法・消防法・都市計画法等の諸条件については、事前に現場毎に建築主事にご確認ください。

■ 設計・仕様決定前に

お願い

スツレサイディングをご採用される場合は、プランニング・ご設計の際に外装材の美観を長期間保つため、可能な限り軒先を出していただき、極力、直射日光・雨及び雪の影響を直接受けにくいよう設計上のご配慮をお願いします。

- 当社カタログ・ホームページ掲載商品の定価・寸法・形状・仕様・入り数(㎡数・枚数・本数)を予告なく変更する場合があります。設計・仕様決定及びご注文の前に最新の商品情報・在庫状況をお問合せください。
- 長さ表記が複数で記載されている(乱尺)商品は、長さ指定はお受けしておりません。
- 木材は同じ商品、同じ梱包であっても、各板それぞれ独特の色の濃淡があり、目合い(節あり商品は節の状態等)も異なり全く同じものではありません。又、節有商品は梱包や、各板一枚によって節の大きさや数(節を含まない場合もあります)は一樣ではありません。尚、カタログの写真・提出サンプルとの色味・目合いの違いもございますが、これらは木材の特徴ですので、ご了承ください。
- お客様にとって好ましくない色味・目合い(節状態)・風合い等、又、木の特性や環境の変化によって避けられない部分(反り・曲がり・割れ・伸縮等)が含まれる場合があります。その場合は目立たない場所に配置してください。又、長さに関わらず長尺物でも資源保護の観点から切り使いによる乱張り施工で、有効にご使用くださいますようお願い致します。真物(マモノ=商品サイズそのもの)使いの保証は出来ませんので、ご了承願います。
- 木材は環境に順応する特性がありますので、寸法変化は避けたい点につき、施工時の若干のサイズのバラつきは予めご了承ください。
- ご発注数量は使用面積の約15~20%増しを目安としてください。但し、ロス率は一定ではありません。余剰材の返品はお受けしておりません。
- 木材は各板一枚一枚同じものではありません。塗装後の仕上がりも商品の本来の色合い・目合いや表面仕上げ(プレーナー又は粗挽き)又、パテや埋木で補修されている部分は無垢部分とも異なります。サンプル等で試験塗装の上、事前にご確認ください。

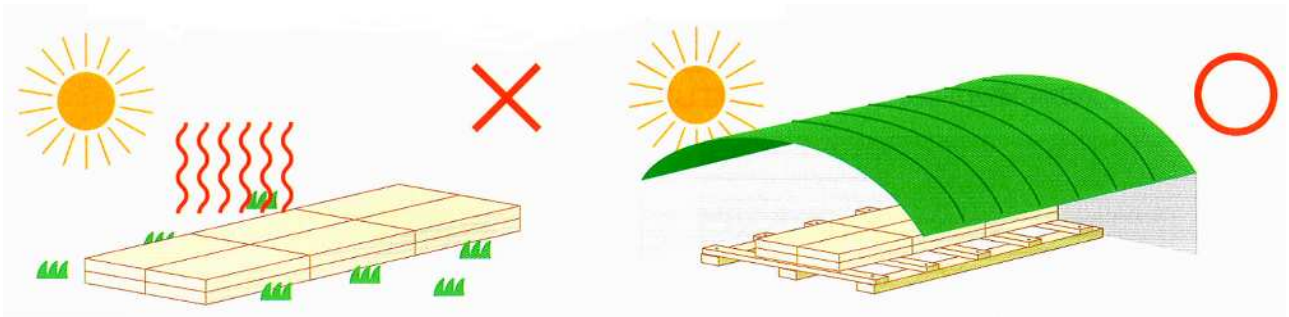
■ 荷扱い・搬入・保管方法

!注意

スツレサイディングを取り扱う際は、「とげ」や「ささくれ」等による怪我防止、商品への汚れ防止のため必ず手袋を装着してください。

- スツレサイディングは、臭いを発するもの(薬品・塗料・接着剤や塗装品の家具等)と一緒に輸送及び保管しないでください。
- 木材の性質上、施工における初期段階の伸縮を防ぐため、施工日の7日前までには商品を現場建物の中に搬入し梱包を解いて周囲の環境に順応させてください。
- 屋外(放置)及び屋内でも過度な湿気や乾燥・雨・雪・直射日光のあたる場所・土間置きは、商品の反り・曲がりやネジレ・割れ・又、伸縮による寸法ムラやカビ・日焼けの発生の原因となりますので、避けてください。特にサーモウッドは直射日光・紫外線によって色褪せますので、シート等で商品全面を覆い退色を防止してください。

- スズトレサイディングは常温で湿度約50%程度の換気の良い床のある屋内に搬入し、直射日光を避け、平らな場所でパレット(台木)の上に必ず横置きし、シートで覆ってください。特に長尺商品は両端が極端に垂れたままの保管や立てかけて保管した場合は、商品が変形(反りや曲がり等)しやすくなりますので、避けてください。
- スズトレサイディングは破損し易いので、お取扱い(保管・移動・再梱包等)は慎重をお願いします。特に、木口・木端面・サネ部分・角(コーナー)部分は十分にご注意ください。尚、サーモウッドは、一般の人工乾燥木材よりも曲げ強度が低減しているため、若干割れ易く、もろい部分がありますので、更に慎重にお取扱い願います。
- 長期に渡り保管する場合は、特に前述の内容にはご注意ください。
- 保管環境により、木材製品はサイズ(巾・長さ)が変化することもあります。(長期保管した商品を施工する場合は、事前にサイズを確認し、サイズムラがあった場合は調整の上、施工してください。)

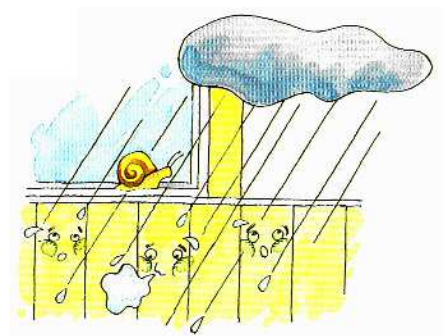
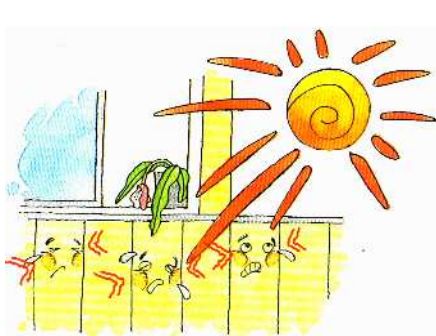


■ 湿気対策

お願い

木材製品は施工中・施工後に過度な湿気の影響を受けると、板の幅や長さ方向に「伸び(膨らみ)」が顕著に現れ、サイディング材が下地から浮き上がったり、剥がれたりすることがありますので、施工の際は特に下記の点にご注意されますようお願い致します。

- 同じ現場内で湿式工事が予定されている場合は、先に湿式工事を施工してください。その養生期間が完了し、現場内の湿度が安定してからスズトレサイディングを施工してください。
- 特に多湿時期(雨期等)の施工では、現場内の湿度が安定してから施工してください。
- 多湿によるサイディング材の伸びを考慮し、サネ又は、重ね部分をゆるめにして若干クリアランス(隙間)を確保しながら施工してください。





商品を切断・切削する際は、手袋・防塵マスクを装着して作業してください。

特にサーモウッドを切断・サンダー掛けする際は、一般の人工乾燥木材よりもサーモウッドの木クズは粒子が細かいので、のど・鼻・目の保護のために防塵マスク、防塵メガネを装着してください。

■ 塗装について

- 塗料は板の呼吸を妨げない木材製品専用の浸透性保護塗料(オイルステイン)をお勧めします。
- 使用する塗料メーカーの施工要領に従い確実に行ってください。
- 屋外使用の場合、クリア塗装では紫外線による変色・劣化が早いとお勧めしておりません。
- 樹種や樹種の木目・塗布面の仕上げにより仕上がり具合が異なりますので、事前にカットサンプル等で試験塗装を行い、色や塗装状態を確認してください。
- 初回の塗装は施工前に表裏両面(サネ部分含む)及び木口面全てに塗装してください。これにより板の表裏両面の含水率を均一に保ち、湿気・乾燥の影響による形状変化を軽減することができます。又、サネ部分にも塗装することで、板が収縮してサネ合わせ部分に隙間が生じた場合でも、無塗装部分の露出を防ぐことができます。
- 縦張りの場合、土台水切りに接する木口面は、特に念入りに塗装を施してください。
- サーモウッドは一般の人工乾燥木材より平衡含水率(*1)が低く、吸水性が低減しているため、乾燥時間が若干長くなります。
- 外装材は粗挽き面の方が塗装の耐久性が格段に高まります。
- 塗装の際、塗料に含まれる溶剤の影響でパテの表面が一時軟化する場合がありますが、溶剤が揮発した後は硬化します。
- スツレサイディング(無塗装品)への塗装は、三井化学産資(株)の含浸型塗料「ノンロット 205N」をお勧めします。塗装方法は www.nonrot.jp をご参照ください。(色見本をご用意しておりますので、別途当社にご用命ください。)

(*1) 平衡含水率: 木材がある一定の温度と湿度条件下で、吸湿や放湿をせず大気中の湿度と平衡に達した状態の含水率

塗料(含浸型)/ノンロット

お取寄せ

製造販売元: 三井化学産資株式会社
www.nonrot.jp

木目を生かす全17色

▲は内装用クリーン色
▲は外装用205N・Zカラー色

● 白木を自然のままに保護する透明系

- ▲ クリーンクリアー (C-C)
- ▲ ZSクリアーII (希釈・上塗りにも可) (ZS-CII)
- ▲ ZSクリアーナチュラル (ZS-CN)
- 木肌を生き生きと活かす淡色系
- ▲ ZSレモンイエロー (ZS-LY)
- ▲ クリーンイエローオーク (C-YO)
- ▲ ZSイエローオーク (ZS-YO)
- ▲ クリーンライトオーク (C-LO)
- ▲ ZSライトオーク (ZS-LO)
- ▲ クリーンナチュラルオーク(C-NO)
- ▲ ZSナチュラルオーク (ZS-NO)
- ▲ クリーンダークオーク (C-DO)
- ▲ ZSダークオーク (ZS-DO)
- ▲ クリーンホワイト (C-WH)
- ▲ ZSホワイト (ZS-WH)

● 個性を楽しむ濃色・原色系 アンティーク調(木が長持ちします)

- ▲ ZSライトブラウン (ZS-LB)
- ▲ クリーンオリーブ (C-OV)
- ▲ ZSオリーブ (ZS-OV)
- ▲ クリーنداークブラウン(C-DB)
- ▲ ZSダークブラウン (ZS-DB)
- ▲ ZSアンティークブラウン(ZS-AB)
- ▲ クリーンニューブラック(C-NB)
- ▲ ZSニューブラック (ZS-NB)
- ▲ ZSライトグレー (ZS-LG)
- ▲ ZSグラスグリーン (ZS-GG)
- ▲ ZSマホガニーレッド(ZS-MR)

■ ノンロットクリーン (内装用)

F☆☆☆☆ (社)日本塗料工業会登録番号 M07001



- ◆ 3.5リットル缶
- ◆ 14リットル缶

■ ノンロット205N (外装用)



- ◆ 3.5リットル缶
- ◆ 14リットル缶

◆ ノンロットは含浸性の塗料につき、樹種や樹種の木目・塗装面の仕上げにより仕上がり異なりますので、施工前の塗装をお勧めします。

■ 下地施工

ステップ 1 下地の防水処理

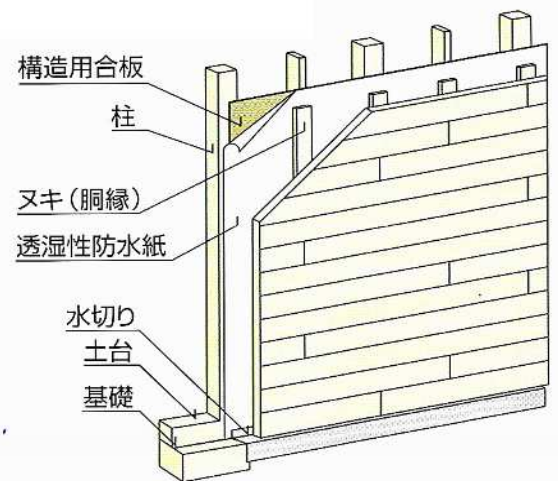
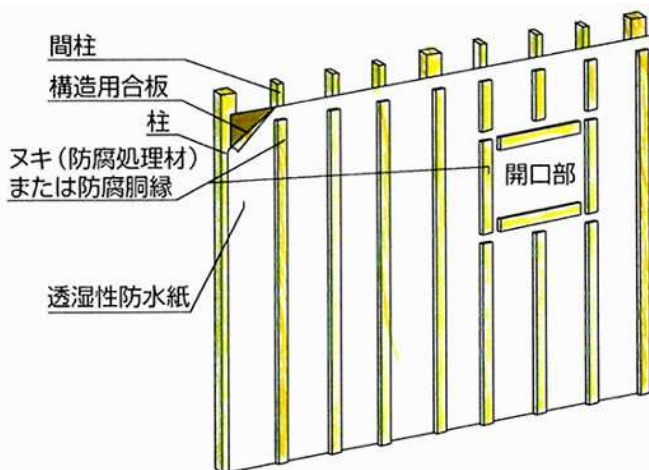
- 間柱または、構造用合板の上に透湿性防水紙を張ります。
- 防水紙の重ね幅は100mm以上とり、継ぎ目と端部は全て防水テープで目留めしてください。
- 特に下地材と開口部材(サッシ・ドア枠)との継ぎ目部分は、全て念入りに防水テープで目留めしてください。

ステップ 2 通気層の確保(ヌキ材の施工:防腐胴縁取付)

- ヌキも胴縁も防腐処理し、乾燥したものをお使いください。
- 外装材裏側に通気層を確保することは壁内部の結露や腐食を防止し、無垢サイディングの耐久性を維持するためにとっても重要です。防水紙の上に防腐処理したヌキで木下地を組み通気層を確保します。

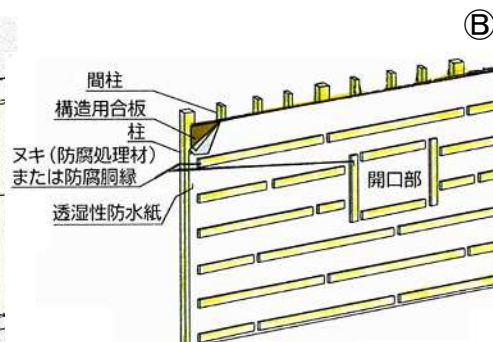
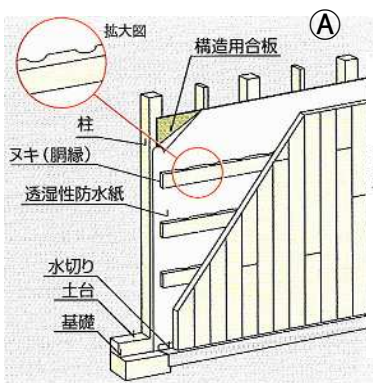
【外装材を横張りする場合 = ヌキを縦に施工】

- ★ 500mm以内の間隔でヌキを縦に施工。
- ★ 開口部の上下は若干クリアランス(隙間)を開けてください

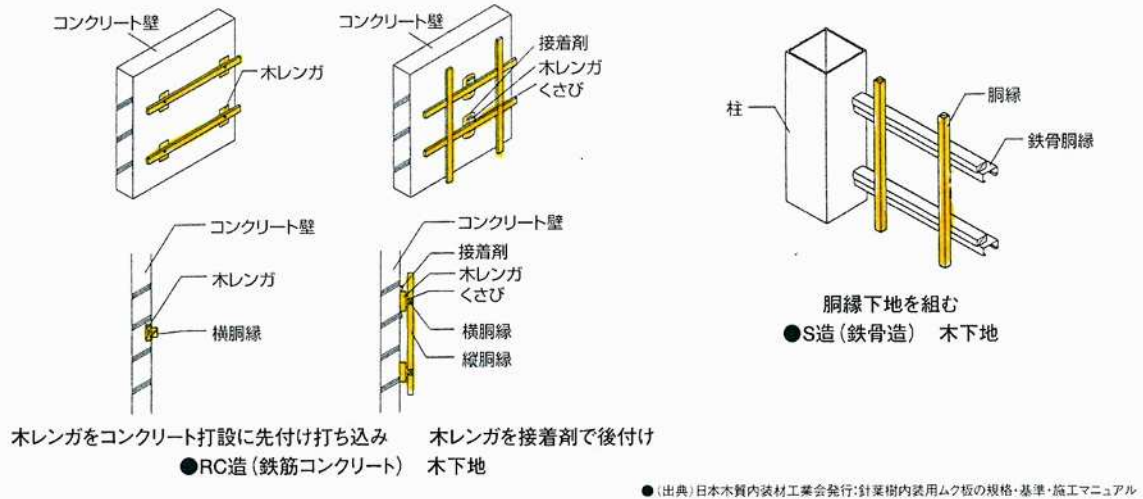


【外装材を縦張りする場合 = 下記の3つの方法から選択】

- 適所に欠き込み(エアホール)加工を施したヌキを水平に施工。
- ヌキを水平に取り付け、1,820mm以下の間隔で若干のクリアランス(隙間)を開けて施工。
- 最初にヌキを縦に取り付け、その上にさらにヌキを水平に重ねて施工。



- ★コンクリート打ち放し面に無垢サイディングを直張りしますと、コンクリートが放出する水分をサイディングが吸水し、反りや膨らみの原因となりますので避けてください。
- ★鉄骨造の外装に無垢サイディングを施工する場合は木下地を組み施工してください。鉄骨下地に直張りしますと鉄骨造の動き(歪み)が直接外装材に伝わり、割れや反り上がりの原因となりますので避けてください。

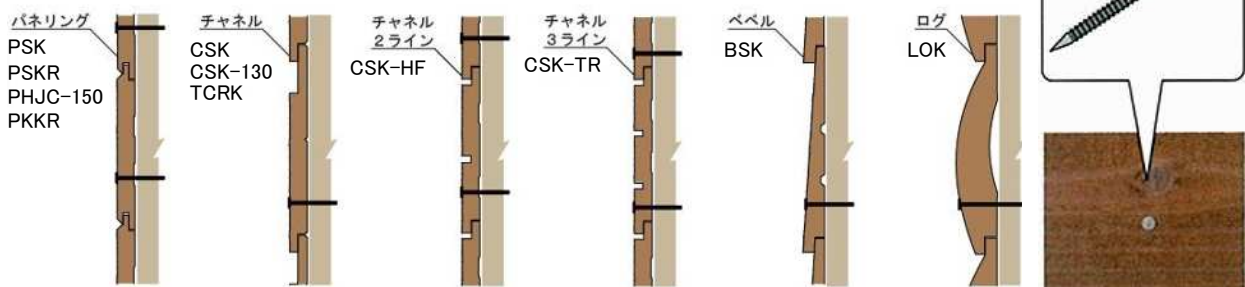


■ 釘について (ステンスリング釘の取扱をしております。詳細は当社までお問合せください。)

- ステンスリング釘等の耐腐蝕性の防錆釘をご使用ください。(鉄・ユニクロ・胴・真鍮釘は腐蝕・錆が発生しますのでお勧めしておりません。)
- 釘の形状は釘の飛び出しや裏抜けを防ぎ、より強い保持力を得るためにステンスリング釘をご使用ください。フィニッシュネイル・ピンネイル等は保持力が劣り、施工後に釘が飛び出す恐れがありますので使用しないでください。
- 一般の人工乾燥木材よりサーモウッドは割れ・曲げ強度が低減していますので、釘打ちの際の割れ防止のため、下穴を開けてから釘打ちをしてください。
- 使用する釘の長さは、施工する板厚の約3倍が目安です。
- 釘は板面(幅)に対し、垂直に1本打ち(脳天打ち)してください。実打ち(隠し釘)は、釘の保持力が低下し、木製サイディングの割れ、反り、曲がり、伸縮等を増幅させる要因となるため避けてください。(釘位置図ご参照ください。)
- 板と板が重なる合欠部分に、2枚通しで釘打ちすることは避けてください。又、板幅に対して2本の釘を打つ場合は間隔を開け過ぎずに打ってください。釘の間隔を広く開けて2本打ちした場合は、板の伸縮により釘打ち部分から割れが生じやすくなります。
- 継ぎ手部分の釘位置は、割れ防止のため、端から20mm以上離し、下穴加工してから釘を打ってください。
- 釘頭は打ち込み過ぎず、サイディングの表面と平らになるようにしてください。

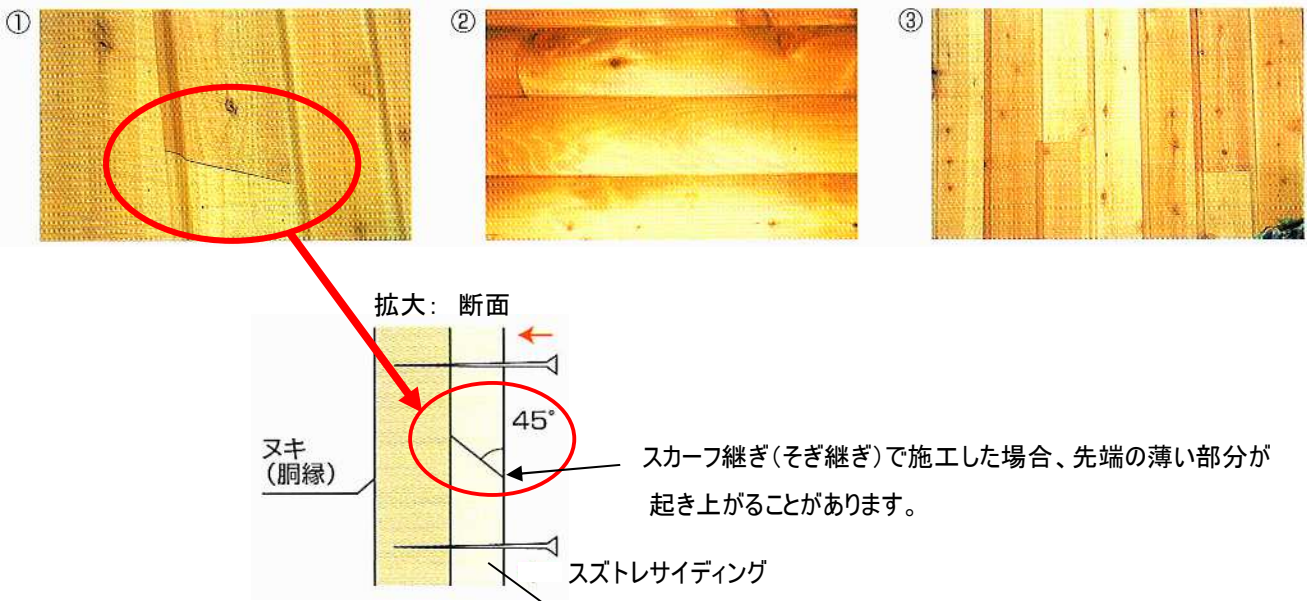
【釘位置図】(断面形状) ★釘は板幅の中央に打たないでください。

■ 釘の位置



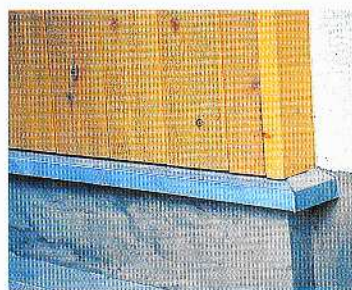
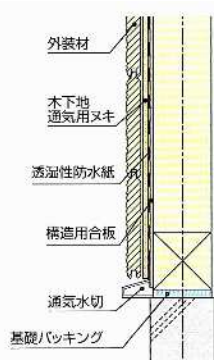
■ 張り方

- スツレサイディングには表面・裏面の区別があります。商品の品質管理・加工・施工方法はあくまでも表面に関するもので、裏面には該当しません。当社カタログで表面をご確認の上、ご使用ください。
- 当社カタログ・及びホームページに表記している寸法は商品加工時の平均値のため厳密な数値は多少の誤差があります。木材の特性上、生産後、特に湿度の影響により±2mm程度、板幅・板長さも伸縮する場合がありますが、予めご了承ください。尚、この板幅の寸法ムラにより木口が合わない場合は、調整しながら施工してください。
- 下地の合板やヌキの継ぎ目とスツレサイディングの継ぎ目が重ならないように施工してください。
- サイディング材同士の縦方向の継ぎ方は、木口を45度に斜面カットしてスカーフ継ぎ(そぎ継ぎ)(写真①②ご参照)で納めてください。このため、予め木口の切断部分の長さを考慮の上、材料を積算してください。
- 本実・合欠加工商品共に、サネ合わせ部分はきつく締め過ぎず、若干クリアランス(隙間)をとるようにしてください。
- スツレサイディングを横張り施工する場合は、必ず凸(オス)サネ側を上向きに施工してください。
- スツレサイディングは、様々な目合い・色味・節(抜節・欠節・割れ節・死節等)や、割れ・欠け・反り・曲り等を含む木材製品です。好まない部分は、目立たない場所に配置し、切り使いで除去してご使用ください。
又、切り使いにより出る短尺物も有効活用し乱尺張り施工してください。(写真③ご参照)



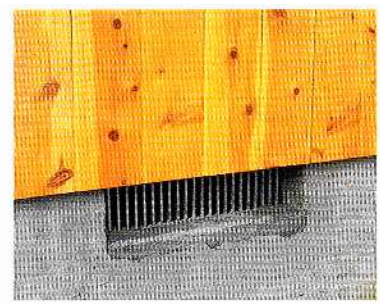
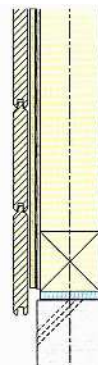
■ 土台水切り部分の納まり

◆土台水切りを使用の場合



外装材と水切りの間は10mm程度のクリアランスをあけてください。

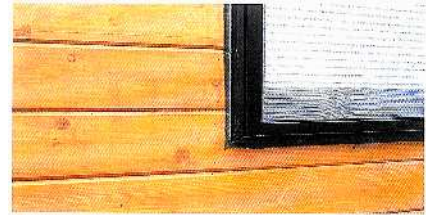
◆土台水切りを使用しない場合



外装材の最下部に水切りを使用しない場合は、布基礎より外装材を30mm~50mm程度下に出してください。

■ 開口部の納まり

- ダクト等の開口部はコーキング処理をし、更に廻り全体に防水テープを貼ってください。
- 開口部にかかる部分には、幅の狭いサイディング材が当たらないように割付けしてください。
- 開口部の水切り上部は、水抜けのため10～15mmのクリアランス(隙間)を開けてサイディングを張ってください。
- サイディングと開口部との納まりは差込み、もしくはコーキング処理してください。



開口部の周囲は下地に防水テープを貼り、止水してください。
外装材と開口部との納まりは差し込みもしくはコーキング処理を施してください。

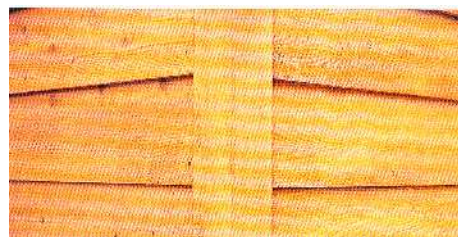
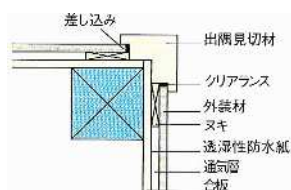
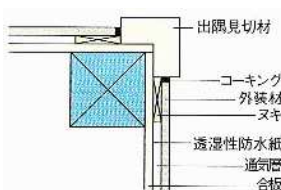
■ 出隅・入隅について

- 当社では、既製の出隅・入隅材は取り扱っておりません。各樹種に応じた製材品を別途手当の上、現場加工にてご使用ください。 * 鉄肥杉:スツレデッキング<鉄肥杉>

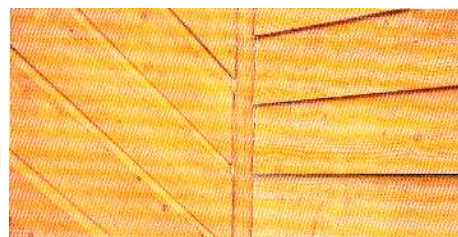
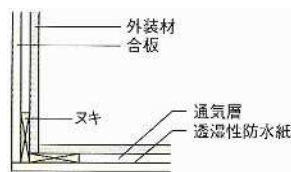
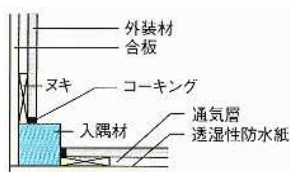
【出隅・入隅材・開口部枠材等に欠き込み加工を施す場合の注意点】

当社商品のサイズ表記は平均値を示しています。当社商品は無垢材のため同じ商品、同じ梱包であっても若干サイズムラもあり、カタログ表記と違うサイズ(厚み・幅・長さ)を含んでいる場合があります。無垢材の特性上、避け難い点につき、現場納入商品のサイズを加工前にご確認の上、ご使用願います。特にサーモウッドは一般材よりも割れ・曲げ強度が、低減していますので、お取り扱いにはご注意ください。

■ 出隅納まり例



■ 入隅納まり例



- * 当社は、当施工要領の掲載以外の工法で施工された場合には、その不備に対して如何なる責任を負うものではありません。
- * 商品引渡し後(保管中・施工中・施工後)の商品の割れ・反り・曲がり・割れ・伸縮・カビ・ヤニ・渋・変色等、及び諸条件による経年変化は木材の特性上避けられません。これらに関する返品・交換は承っておりませんので、あらかじめご了承ください。